

## 令和元年7月定例記者会見要旨

開催日時 令和元年7月25日(木) 午前10時30分 市長応接室

(市長あいさつ)

皆さんこんにちは。間もなく梅雨明けという感じですが、皆様には諏訪市政に対し日頃から取材等ご協力いただきありがとうございます。8月はイベントの多い時期になるので皆様も体調に留意され取材等お願いします。

(副市長あいさつ)

おはようございます。7月8日付けで副市長に就任しました渡辺高秀です。これから皆さんといろいろなところで一緒にいる機会があるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

(8月の日程説明等)

- 蔵前・如水・理窓スマイリンクセミナー 8月3日(土) 午後1時 文化センター
  - 第71回諏訪湖祭湖上花火大会 8月15日(木) 午後7時 諏訪湖畔
  - 第39回ニムラ舞踊賞授賞式 8月19日(月) 午後5時30分 すわっチャオ
  - 第56回諏訪市戦没者追悼式 8月24日(土) 午前11時 文化センター
  - 諏訪市議会 定例会(招集日) 8月26日(月)
- 
- 教育委員会関係8月の行事予定
  - 8月号から「広報すわ」をリニューアル

### **記者との質疑応答**

#### ○豚コレラについて

(記者) 豚コレラ関係で、感染拡大防止で29日に諏訪でワクチンを散布するようだが、県が主導で対応すると思うが、市長の受け止めと市としての対応を聞きたい。

(市長) これは、他人事ではなく諏訪市も千頭ほど養豚をしている方がおられ、感染が拡大することは大変な影響があります。県が主導で対応を取ってくれますので、市も共同歩調で対応していきます。もし、豚コレラ陽性ということになると、72時間以内に殺処分が必要になると伺っています。職員が出動する必要が出てくるので、本日、経済部を中心に出勤計画、人的配置の手配をしているところです。初期対応が大事で小さな被害のうちに徹底的に抑制することが必要で、広がってくると後の対応が本当に大変ですので、できるだけ初期に万延しないうちに撲滅できるよう協力をしていきたいと思ひます。

(記者) 市内で千頭というのは一軒か。

(市長) 後山の一軒です。

### ○霧ヶ峰廃屋解体について

(記者) 霧ヶ峰廃屋も更地になり寄附の目標額も達成したが、霧ヶ峰の市有地で廃屋があると2軒あると思うが、その対応をどう考えているのか。

(市長) これにつきましては、かつての経営者の方と更地にして原状復帰して返却いただく契約になっています。ご健在でいらっしゃるの、約束が履行していただけるようお願いしたいと思います。

(記者) 関係者に契約どおり履行することを求めていくことでよいか。

(市長) 契約により合意が得られているので粛々と行っていきます。

### ○諏訪湖祭湖上花火大会について

(記者) 諏訪湖の花火の協賛金の件だが、事業所の協賛金は去年を下回っている。去年は70周年記念だったので、その反動なのか。

(市長) 反動ではなく、計画どおりです。10年毎に予算を拡大してスペシャルイベントを行ってきています。今年は通常ベースに戻したということです。

(記者) 現状の景気との関係もあると思うが、どうなのか。

(市長) それぞれ事業所の状況は様々だと思います。ご寄附なのでそれぞれの事業所のご判断の中でご協賛いただける額をいただいているということです。トータルとして結果は目標を達成したということです。

(記者) 諏訪の花火ということで、事業所に協力いただいたということか。

(市長) そうです。

(記者) 今年の花火大会の特徴と見所を教えてください。あと、タイトルの「祝令和 on 諏訪湖」に込めた思いを聞きたい。

(市長) 令和の時代になって初回なのでお祝いの意味でこのタイトルにしました。全国各地いろいろなところで災害が多く発生している中で、被災地の皆さんが諏訪湖の花火を観に来られて、元気をもらいました、ファンになり毎年来ています。と言っていておられます。もともとは、戦争で亡くなられた方々の追悼でスタートした諏訪湖の花火です。最近では被災された皆さんに対しても慰めと励ましと勇気づけのために行っております。昨年の70周年大会では内容をドラスティックに変えました。競技花火を尺玉とスターメインで10セットずつだったものを、尺玉二つとスターメインが合体したものを二ヶ所から打ち上げる競技花火に変えました。昨年の反省の中では、尺玉だけで観たいというご意見もありましたので、今年はスターメイン競技花火の合間に尺玉を打ち上げるようになっております。後は、尺玉は、以前は初島からしか打ち上げられなかったものを、昨年からは湖底にH形鋼を打ち込み、尺玉スターメインを打ち上げられるようにしました。今年も10ヶ所から同時に打ち上げる予定です。最後の Kiss of Fire やナイヤガラまで皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

(記者) 今年は全国で花火大会を中止にする動きが出てきている。一番の理由は、警備の  
人件費の高騰であるが、実行委員会の経費が膨大になっているのではないかと思  
うがいかがか。

(市長) それに対しましては、我々も警備費は増えてきています。その中でどのような工  
夫をしているかという、ボランティアで協力いただいている関係団体や関係す  
る地区にも協力をいただいています。警備する範囲を見直したり、効率化を図  
る中で少し工夫をいたしました。安全確保のために必要な警備を付けなければな  
りませんので経費はかかっております。

(記者) 特に来年は、オリンピックと開催時期が重なるので実際に開催できるのか、その  
辺の見通しはあるのか。

(市長) 来年のことについては、今年の花火が終わった後で、周辺の環境等を考えながら  
工夫していくことになると思います。

(記者) 今年の花火については、警備範囲を絞って行うということか。

(市長) ボランティアの皆さんも含めて、警備をするエリアの効率化を研究して工夫しま  
した。

(記者) 経費については、去年も今年も増えていることでよいか。

(市長) 今年予算は実行委員会が承知しています。去年、一昨年は増加しています。オ  
リンピックの関連で、建設関係の単価も上がっていますが、工事が終われば落ち  
着いてくるのか様子はどうでしょうか。

(記者) 花火の関連で諏訪市に伺っているのか分かりませんが、すわっチャオが入ってい  
るアーク諏訪の2階のテラスから今度花火が観られるのではないかと、そうすると  
危ないのではないかと、ツルヤが何時まで営業するのかとか、トイレは使える  
ようにするのかとか、危険なエリアではないかと心配される声があるが、諏訪市  
として対策を考えているのか。

(市長) 諏訪市が管理しているのは、すわっチャオで3階のフロアです。眺めの良い場所  
なので、普段なかなか花火を観られない障がいをお持ちの方とか車椅子の方とか  
を抽選で見ていただくことを検討しましたが、周辺が大変混雑するので、ご家族  
も含めて観覧の希望がありませんでした。危険度が高くて連れて行けないとい  
うことです。結果として、3階のすわっチャオは混雑と事故の元になるというこ  
とで閉鎖を決定しています。2階の部分につきましては、アーク諏訪の管轄になる  
と思いますので、そちらの方へご確認いただきたい。

## ○参議院議員選挙について

(記者) 参議院議員選挙が終わったが、県区とすれば投票率が低かった。市長としてこの結果をどのように受け止めているのか。

(市長) 統一地方選から選挙が続いていたので、選挙疲れがあったのか、あるいは有権者が選挙に行こうとする気持ちを駆り立てるような争点がクローズアップされなかったのか、危機感が弱かったのかなという感想はあります。しかし、非常に大事な参議院議員選挙でしたので、民主主義は選挙が根底にあって政治、政策が進みますので、まず、それに参加し投票することが大事だと思っています。投票率が上がってほしいと祈っておりましたが、残念ながら結果は投票率を下げてしまいました。当市も期日前投票は前回よりも若干上がりましたが、全体として前回の62.73%から今回54.06%で8.67ポイントのダウンという結果でした。残念ではありますが、当市の選挙管理委員会も投票率を上げるために努力しており、子どもの塗り絵を事前に配布し投票所に持ってきたらプレゼントを進呈する取組を実施し、367枚を回収しています。いろいろな工夫が必要ですが、これも新しい試みで良かったと思っています。

(記者) 今年は諏訪エリアでは首長選の無投票が続いている。理由はなぜなのか。

(市長) 私も県議会議員でいる時に県会議員は何をやっているのかよく見えないという話がありました。当時、革新的な知事が当選した時には、県議会も熱を帯び各会派に注目が集まり、活動が大きく報道されたことがありました。民主主義のいろいろなファンクションがありますが、危機感がある時にはそれなりに力を発揮してくることを感じたことがあります。このところ無投票が続いているのは、市民や国民の皆さんが、ある程度安定した気持ちの中に行政や政治に対する目線があるのかなという見方もできると感じました。

## ○スマホ納付について

(記者) 新しい広報すわではQRコードを利用するようだが、最近スマホを利用してJRのチケット代を決済したり、公共団体でも水道料金の支払いに利用しているところもあるようだが諏訪市の状況は。

(市長) 諏訪市もコンビニ交付とか、そうした取組をしており、電子自治体への転換は積極的に進めてきていると思っています。近年、スマホ決済も動いていますが、当市も来年4月1日からスタートしたいと思っています。スマホによる納税の決済を稼働するため、準備を進めているところです。

(総務部長) スマホ決済サービスを利用した納付ということですが、当市で考えているのは、全ての税と水道料金、下水道使用料、温泉料金です。スキームは固まっており、先般庁内関係各課を集めた連絡会議でもその方向になっています。税は年度の単位で課税しますので、4月1日がスタートになると想定しており、岡谷市は

今年の4月から水道料金をスマホ納付にしています。納税いただくチャンネルを一つ増やすという形になります。納付書のバーコードを読み込んでいたものを自身のスマホで読み込み決済するものです。現在、全国で9.1%くらいの市が実施しており、今後広がっていくものと思います。初期投資がほとんどないのでメリットがありますし、納付される方も負担がないということです。詳細は税務課の収納係長が担当していますので取材をいただきたい。

## ○L o o o pメガソーラーについて

(記者) L o o o pのメガソーラーについて聞きたいが、現在、環境影響評価準備書が縦覧できる状態になっているが市長はご覧になったか。

(市長) 私は直接見ていませんが、担当課が把握していると認識しています。

(記者) それについてL o o o pへ意見書を市長として出せるようになっているが予定は。

(市長) L o o o pが説明会を開催しました。県では環境影響評価技術委員会が開かれている途中です。住民の皆さんからもL o o o pに対して意見書を提出できる段階です。その締め切りが8月15日と聞いていますので、L o o o pに対する住民の意見にL o o o pがどんな対応をされるのかを見た上で、また、県の環境影響評価技術委員会の議論の経過を見た上で、諏訪市からも知事に対して意見書を上げる予定です。様子を見守っている段階ではありますが、担当課とは常に情報を集めて経過を注視している段階ですので、話し合いながらどんな意見書を出していくのかまとめていきたいと思います。

(記者) 茅野市では一部の地区で大反対が起こっている。諏訪市の場合は国道沿いの五蔵の造り酒屋で水が危ないのではという話をしているが、その話は聞いているのか。

(市長) 心配されている皆さんが直接お越しになってお話を伺っています。私の立場とすれば、ニュートラルな立場ですので、双方のお話を伺いながら判断して意見書を上げていきたいと思います。

(記者) L o o o pがしきりに住民説明会を開いているが、どんな説明をしたらよいのか市長からアドバイスはあるか。

(市長) 私が申し上げることがよいかどうか分かりませんが、私としては、開発されるL o o o pが心配をされている皆さんに対して、丁寧にお答えいただくことが基本だと思います。そのために、長い期間をかけて準備書を作成されて、積み上げてこられたと思いますので、そのことを分かりやすく説明していただくことが大事かと思っています。